

もっと安心農産物 こまつな栽培暦 (春夏どり栽培) (令和6年産)

J Aいちかわ船橋地区もっと安心農産物生産グループ

1.土作り

完熟堆肥を施し土作りする。(2,000kg/10a) 堆肥の補助資材として、アツミンを使用する。

2.施肥

土壌診断にもとずく施肥量を遵守します。(ちばエコ基準の化学肥料使用量窒素成分 春どり10kg/10a)

	肥料名	保証成分 (%)			施肥量 ※春どり用 夏どり用は注意事項参照
		N	P	K	
基 肥	①船橋みらい007	10	10	7	(有機態窒素3.3%) 149kg/10a以下
	②スーパーマイルド086	10	8	6	(有機態窒素6.1%) 250kg/10a以下
	③マイルド有機030	10	13	10	(有機態窒素5.3%) 210kg/10a以下
	④有機アグレット673	6	7	3	(有機態窒素6.0%) 200kg/10a
	苦土重焼燐	0	35	0	60kg/10a
	苦土セルカ2号				(カキガラ100%の有機石灰) 60kg/10a

※基肥は、①若しくは、②を選択する。

※有機アグレット673は、有機アグレット088・スーパーマイルド有機で窒素量が不足する場合施用する。

※夏どり施肥量上限5.5kg/10a：①船橋みらい007：8.2kg/10a ②スーパーマイルド086：14.0kg/10a以下
③マイルド有機030：11.5kg/10a以下 ④有機アグレット674：10.0kg/10a以下

3.防除

使用薬剤は下記の化学合成農薬9成分使用回数とする。

(スピノエース顆粒水和剤・BT剤は、化学合成農薬に含まれません。薬剤名後の()は化学合成農薬の成分数を示す)

月	管理作業	病害虫の発生	使用薬剤	希釈倍数 処理量	使用時期	対象病害虫	備考
1	上	↑ 施肥	アルバリン粒剤(1)	6kg/10a	播種時土壌混和	アブラムシ類	<害虫対策> トンネルやハウス施設を 防虫ネット(0.8~1.0 mm)で覆いアブラムシ類の侵入を防ぐ。
	中		ダントツ粒剤(1)	6kg/10a	播種時土壌混和	アブラムシ類	
	下		ユニフォーム粒剤(2)	9kg/10a	播種時全面土壌混和	白さび病	
2	上	春播種	スピノエース顆粒水和剤(0)	2,500倍	収穫14日前2回以内	アブラムシ類 アカイハエ	<白さび病対策> 平均気温15℃前後で降 雨が多いと発生しやすい。 常発圃場や低湿地は発 生しやすいので作付けを 避ける。 耐病性のある品種を選 択する。(いなせ菜 こいし菜)
	中		モスピラン顆粒水溶剤(1)	4,000倍	収穫7日前1回以内	アブラムシ類	
	下		プレバソンフロアブル5(1)	2,000倍	収穫前日2回以内	アカイハエ	
3	上	↓ 収穫	コテツフロアブル(1)	2,000倍	収穫3日1回以内	アカイハエ	作物残渣はきれいに処理 して病害虫の発生源をな くす。
	中		アルバリン顆粒水和剤(1)	3,000倍	収穫3日2回以内	アブラムシ類	
	下		ランマンフロアブル(1)	2,000倍	収穫3日3回以内	白さび病	
4	上	↓ 夏播種	アファーム乳剤(1)	2,000倍	収穫3日前2回以内	アカイハエ	
	中		アグロスリン乳剤(1)	2,000倍	収穫前日2回以内	アブラムシ類	
	下		アニキ乳剤(1)	1,000倍	収穫前日3回以内	アカイハエ ハモグリバエ	
5	上	夏播種	エスマルクDF(1)	1,000倍	収穫前日	アカイハエ	
	中		プロフレアSC(1)	2,000倍	収穫前日3回以内	チョウ目・ハムシ シ専門剤	
	下						
6							
7							
8							
9							